

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
36304	美容の科学 Science of Beauty Treatment	内田 直子	✓		2	選択	1.2後期

**科目の概要**

美容における基礎的なからだの構造・機能について学修する。美容成分について理解し自身のスキンケアの知識を高める。さらに将来美容や健康に関わる仕事等でより成果を上げるため、周囲のひとに対してもアドバイスができるように色々な肌質について学修する。世の中に数多くあるスキンケア商品の中から、それぞれの肌に合ったものやケアの方法を選べるようになり将来にわたり健康的な肌でいられるようにするため、この授業を通し美容に関する専門的知識を修得し、これらを活用できるようにする。  
美容の科学は、ディプロマ・ポリシー①②③④に相当する。これらを身に付けるために行う。  
★一人ひとりの肌質に合ったスキンケアのアドバイスができるように美容業界での経験を活かして教授し、トラブルのない健康的な肌質を維持するケアを習得させる。

学修内容	到達目標
① 皮膚の構造を知る。 ② 美容のために必要な皮膚の機能を知る。 ③ スキンケアにおける基礎的な美容成分の知識を知る。 ④ 健康的な皮膚を保つために必要な栄養を知る。 ⑤ スキンケアの方法を知る。	① 皮膚の構造について説明することができる。 DP (①②③) ② 美容に必要な皮膚の機能を説明することができる。 DP (②③) ③ 基礎的な美容成分の効果を説明することができる。 DP (②③) ④ 皮膚の健康のために必要な栄養を説明することができる。 DP (①②③) ⑤ 正しいスキンケアの方法を知り実際に行うことができる。 DP (②③④)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	授業の時間以外にもスキンケアや美容成分について積極的に興味を持ち知ろうとすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	学んだ美容の知識やスキンケア方法を実践することでトラブルの無い肌を目指していくことができる。
考え抜く力	課題発見力	自分に必要な（または不要な）美容成分やスキンケア方法は何かを考えることができる。
	計画力	
	創造力	自分とは違う様々な肌質の人にもそれぞれに合うスキンケアや美容成分を想定することができる。
チームで働く力	発信力	学んだことや知り得た知識を目的ごとにまとめ文章や発表において表現することができる。
	傾聴力	授業内容を理解しポイントをおさえてノート等にまとめることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト：使用しない。プリントを適宜配布する。  
参考文献：なし

**他科目との関連、資格との関連**

資格との関連：AJESTHE認定フェイシャルエステティシャン AJESTHE認定ボディエステティシャン

学修上の助言	受講生とのルール
授業中の説明やポイントとなる部分を自分なりにまとめておくと良い。 授業の時間以外にも肌の状態やスキンケア方法について興味を持つようにすること。	欠席・遅刻・早退等は連絡すること。授業中は無断で入室しないこと。 携帯電話の電源は切り、カバンに入れておくこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①		<p>授業内に4回の小テストを行う。各時点までに学修した内容から出題する。小テストの合計点により判定する。</p> <p>自分の肌に合った美容成分やスキンケアアイテム、必要な栄養など授業で学修したことを活かし健康的で美しい肌を目指すために（または維持するために）必要なことをレポートにまとめクラスルームに提出する。（200～400字程度）</p> <p>(主体性) 自分の肌に合った美容成分やスキンケア方法を実践することができる。 (実行力) 学んだ知識を活かし実践していくことができる。 (課題発見力) 自分に必要なスキンケアを授業内容と結び付けて考えることができる。 (想像力) 自分以外のひとへのスキンケア方法を考えることができる。 (発信力) 自分なりにまとめたことを文章などでわかりやすく発表できる。 (傾聴力) 授業内容を理解しながらノートにまとめることができている。 (規律性) 遅刻、無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出しフォローレポート課題を行う。</p>	
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	平常評価	小テスト	40	①		✓
				②		✓
				③		✓
				④		✓
				⑤		✓
		レポート	50	①		✓
				②		✓
				③		✓
				④		✓
				⑤		✓
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①				
		②				
		③				
		④				
		⑤				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>A (優)</p> <p>小テストとレポートの合計 84～75点 皮膚の構造、目的に合った美容成分、栄養について説明することができる。 社会人基礎力が8割以上達成できている。</p> <p>S (秀)</p> <p>小テストとレポートの合計 90点～85点 上記 (A) の内容に加え肌の状況に合ったスキンケア方法について説明することができる。 社会人基礎力が9割以上達成できている。</p>	<p>C (可)</p> <p>小テストとレポートの合計 64～55点 目的に合った美容成分を説明することができる。 社会人基礎力が6割以上達成できている。</p> <p>B (良)</p> <p>小テストとレポートの合計 74～65点 上記 (C) の内容に加え目的に合った栄養について説明することができる。 社会人基礎力が7割以上達成できている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション。 授業内容や美容に関する検定試験の種類や内容の違いについて理解する。	講義	美容に関する検定試験の種類や内容について説明することができる。	(復習) 美容に関する各検定の試験日や申込み方法などを調べる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	皮膚の構造と機能を知る。	講義 パワーポイントとプリントを使用する。 授業を振り返り要点をフィードバック。	皮膚の構造や機能を説明することができる。	(予習) 皮膚の構造図で名称を覚えておく。 (復習) 皮膚の構造と機能についてプリントやノート等にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	スキンケアアイテム(基礎化粧品)の種類と目的・役割を理解する。 効果的な使用の順序を理解する。	講義 パワーポイントとプリントを使用する。 授業を振り返り要点をフィードバック。	各スキンケアアイテムの種類や目的、使用の順序を説明することができる。	(予習) 自分の使っているスキンケアアイテムの種類を確認する。 (復習) スキンケアアイテムの種類、役割、使用順序についてプリントやノート等にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	髪の毛の構造と機能を知る。 頭髪のトラブル(枝毛・切れ毛・抜け毛など)とヘアケア方法を理解する。	講義 パワーポイントとプリントを使用する。 授業を振り返り要点をフィードバック。	髪の毛の構造や機能を説明することができる。	(予習) 自分の使っているヘアケアアイテムの種類を確認する。 (復習) 髪の毛の構造と機能、ヘアケア方法についてプリントやノート等にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	肌トラブルの原因について理解する。 【くま・ニキビ・吹き出物】	◆2~4回目の授業内容で小テストを行う。 講義 パワーポイントとプリントを使用する。 授業を振り返り要点をフィードバック。	肌トラブルの原因について説明することができる。	(予習) 自分におきたことがある肌トラブルをまとめる。 (復習) くま、ニキビ、吹き出物の原因をプリントやノート等にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	肌トラブルの原因について理解する。 【しみ・ソバカス・肝斑】	講義 パワーポイントとプリントを使用する。 前回の小テストの内容について解説を補足してフィードバック。	肌トラブルの原因について説明することができる。	(復習) シミ、ソバカス、肝斑の原因についてプリントやノート等にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	肌トラブルの原因について理解する。 【シワ・たるみ・くすみ】	講義 パワーポイントとプリントを使用する。 授業を振り返り要点をフィードバック。	肌トラブルの原因について説明することができる。	(復習) シワ、たるみ、くすみの原因についてプリントやノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	女性ホルモン(男性ホルモン)が肌に与える影響について理解する。	◆5~7回目の授業内容で小テストを行う。 講義 パワーポイントとプリントを使用する。 授業を振り返り要点をフィードバック。	女性ホルモンの働きについて説明することができる。	(予習) 女性ホルモンについて調べる。 (復習) 女性ホルモンが肌に与える影響についてプリントやノート等にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	日焼け止めの種類(紫外線吸収剤と紫外線散乱剤)の違いと効果について理解する。	講義 パワーポイントとプリントを使用する。 前回の小テストの内容について解説を補足してフィードバック。	日焼け止めの種類と目的の違いを説明することができる。	(予習) 自分の使っている日焼け止めの成分を調べる。 (復習) 日焼け止めの種類や目的の違いについてプリントやノート等にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	水の硬度、軟水・硬水の違いを知る。硬度の違いが肌や髪に与える影響を理解する。	◆8~9回目の授業内容で小テストを行う。 講義 パワーポイントとプリントを使用する。 授業を振り返り要点をフィードバック。	軟水・硬水が肌や髪に与える影響を説明することができる。	(予習) 売られている水の栄養成分表示を見てpH、硬度を調べる。 (復習) 軟水、硬水の違いと水の成分の違いが肌や髪に与える影響をプリントやノート等にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	肌のゴールデンタイムを知る。肌と睡眠の関係について理解する。	講義 パワーポイントとプリントを使用する。 前回の小テストの内容について解説を補足してフィードバック。	肌と睡眠の関係性について説明することができる。	(予習) 睡眠不足が肌に与える影響について調べる。 (復習) 肌のゴールデンタイム、肌と睡眠についてプリントやノート等にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	化粧品と医薬部外品の違いについて知る。(美白・ニキビ・アンチエイジング成分など)	講義 パワーポイントとプリントを使用する。 授業を振り返り要点をフィードバック。	医薬部外品とは何かを説明することができる。	(予習) 自分や家族の使っているスキンケア用品に医薬部外品と表記されているものを調べる。 (復習) 化粧品と医薬部外品の違いをプリントやノート等にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	美容成分に期待できる効果について理解する。(保湿・美白)	◆10~12回目の授業内容で小テストを行う。 講義 パワーポイントとプリントを使用する。 授業を振り返り要点をフィードバック。	それぞれの成分の効果について説明することができる。	(予習) 自分の使っているスキンケア用品の成分表示を確認する。 (復習) 保湿・美白に対する美容成分についてプリントやノート等にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	美容成分に期待できる効果について理解する。(くま・ニキビ・シワ)	講義 パワーポイントとプリントを使用する。 前回の小テストの内容について解説を補足してフィードバック。	それぞれの成分の効果について説明することができる。	(復習) くま・ニキビ・シワに対する美容成分についてプリントやノート等にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	スキンケアに関する用語を理解する。サプリメント成分に期待できる効果について理解する。自分の肌について必要なスキンケア方法や必要な美容成分などについてレポートにまとめクラスルームに提出する。	講義 パワーポイントとプリントを使用する。 これまでの授業内容を振り返り要点をフィードバック。	それぞれのサプリメント成分の効果の説明することができる。	(予習) 自分の現在の肌において必要(不足している)と感じる栄養素がある場合は調べる。 (復習) それぞれのサプリメント成分の効果についてプリントやノート等にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力